

「大分に青少年科学館を作る会」2008年度事業報告

【2008年4月1日～2009年3月31日までの事業報告】

- 2008年7月12日 委員会及び総会、サイエンス・カフェ2008を開催
午前中：委員会
午後1：サイエンス・カフェ（参加者 35名）
内容：「解剖学からみた生物の進化 人体の探索と進化の旅」
講師：大分大学名誉教授の加藤征治氏
午後2：総会
事業報告及び決算、今年度の事業計画等が話し合われた。その後は、全体の意見交換ということで、個人会員の増強等活動の幅を広げる 教育委員会だけでなく他の部局をも交渉のターゲットして多面的なアプローチをする等多くの意見が出された。
- 2008年11月8日 『サイエンス・カフェ 2008 Autumn』を開催
28名の参加者を得て、大分市コンパルホール3階大会議室にて開催。当日のテーマは「おおいたの水の顔～おいしい水ってどんな顔！？」。講師は大分大学教育福祉科学部教授 川野田實夫氏で、大変おもしろい切り口、語り口で楽しいカフェとなった。
- 2008年11月22日 『2008年度 模型ロケット製作教室』を開催
「宇宙少年団おおいた分団」が中心となって当会との共同主催で『模型ロケット製作教室』を大分高専で開催。製作及び打ち上げ実験の指導には、九州大学大学院航空宇宙工学部門の麻生茂教授が当たられた。
最初に麻生教授から30分程の基調講演が行われた後、小学校1年生の第1班から小6・中学生の第6班まで6つのテーブルに分かれて、模型ロケットの製作が行われた。
主催：九州航空宇宙開発推進協議会、YACおおいた分団、大分高専地域連携交流センター、大分に青少年科学館を作る会
後援：大分県 ほか
- 2009年1月1日 『TOS 新春知事対談』で広瀬知事が星出宇宙飛行士と対談
TOSの正月番組「大分ルネッサンス」で知事と宇宙飛行士の対談が実現。その中で、星出宇宙飛行士から、自分の将来を大きく決定づけた体験として科学館が挙げられた。
- 2009年1月10日 『ハローヒューストン in 大分高専』を開催
アメリカのヒューストンと大分高専をテレビ会議システムで結び、山崎直子宇宙飛行士と大分の子もたちが意見交換を行った。まず子どもたちが質問をしたが、途中からは父兄や大人リーダーからも質問が飛び出してしまい、予定時間を20分もオーバーする、とてもエキサイティングな会議となった。
主催：JAXA、YACおおいた分団
共催：大分に青少年科学館を作る会、大分高専

大分に青少年科学館を！

- 2009年1月14日 「大分県中期行財政運営ビジョン」(素案)に対する意見書を提出
1. 「おおいたっ子科学マインド育成事業」に続く、更に進んだ具体的目標を掲げるべき
 2. 今後3年の中期的ビジョンを示すのみでなく、本県における科学教育・科学文化レベル向上の長期的な目標(平成27年目標)について、そのあるべき姿を示すべき
 3. そのための有識者会議を設置する等、具体的な議論をスタートさせることをビジョンにおいて明記すべき
- ことを提言
- 2009年2月26日 「行財政運営ビジョン」への意見書に対する回答が発表される
2. 子どもたちの挑戦や自己実現を支える大分県
- (1) 教育の再生 の文中において
- 子どもの自然科学や技術に対する興味・関心を高めるため、ものづくり体験や科学実験教室を充実し、大学・企業・発明クラブ等のネットワーク化を図るとともに、その拠点施設についても調査・検討します。
- との修正が行われた。
- 2009年3月11日 作る会の新ホームページが開設
- セキュリティ問題や掲示板荒らしなどへ対応するため、新ホームページを開設。
- 画面構成、機能、内容とも従来より大幅にアップ。
- <http://kagakukan-oita.net/>